

# 新産業創造研究機構

## 「からくり現場改善入門セミナー」開く

### 現場効率化の手法学ぶ

新産業創造研究機構  
(NIRO)他は11日、

「からくり現場改善入門セミナー」を神戸市須磨区の兵庫県立工業技術センターで開催、約100人が参加した。同セミナーの主催はNIRO、兵庫県立工業技術センター、兵庫県機械技術研究会、神戸市。共催が神戸市機械金属工業会。

世の中はDXの時代だが、そんな中で現場の効率化は重要度を増している。「からくり現場改善」は、現場の効率化の一つの手法。

「からくり現場改善」は、▽現場の困り事や

課題を見つけ出し▽重労働などの自然エネルギーやバネ・滑車・歯車など簡単な仕掛を使い▽環境負荷を少なく、ローコストに改善する



開催したセミナー①、会場ロビーで展示



からくりの実機を

もの。その仕組みが「からくり人形」に通じるため、この名で呼ばれている。

セミナーではパナソニックの新潟工場、ヒロテックの湯来工場での事例紹介や実機展示を行った。

プログラムと講師は次の通り。

▽パナソニック新潟工場の「からくり現場改善」II パナソニックエレクトリックワークス社新潟工場の徳吉潤成氏

に使える！ 製品紹介  
II 矢崎化工の羽賀智之氏、遠藤工業の遠藤峻氏

▽「からくり現場改善」の実例と製作部材の展示見学タイムII パナソニック、矢崎化工、遠藤工業の3社が展示に協力

▽ヒロテックにおける「からくり」人材育成と活用事例II ヒロテック湯来工場組立課課長の重河文彦氏、同生産企画班長の横山隆博氏

講師の徳吉氏は、からくり製作の秘訣は課題を現場で相談し使う人に体感してもらうこと。あまり時間をかけずできれば5日程度で仮組、本組を経て、安全作業書を用意し運用まで行うことが重要だと指摘した。からくりを「作業する人を楽にする便利なモノ」として、堅苦しく考えず始めてほしいと話した。

